

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 23 日 (2019.5.23)

【公開番号】特開 2019-37280 (P2019-37280A)

【公開日】平成 31 年 3 月 14 日 (2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報 2019-010

【出願番号】特願 2017-159163 (P2017-159163)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 12 日 (2019.4.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基いて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

操作受付が許容される受付演出を発生させる受付演出実行手段と、

前記受付演出において操作受付がなされると、該操作受付に応じた受付後演出を実行する受付後演出実行手段と

を備え、

前記受付後演出は、操作受付がなされたタイミングにかかわらず演出パターン内の予め定められたタイミングが到来するまで継続される定タイミング型の受付後演出として実行される場合と、操作受付がなされたタイミングから予め定められた時間分だけ継続される定時間型の受付後演出として実行される場合とがある遊技機であって、

前記受付演出として、少なくとも第 1 の受付演出及び第 2 の受付演出が用意されており、

前記第 1 の受付演出は、特定 B G M が非抑制態様で可聴出力されているなかで発生しうるものであり、

前記第 2 の受付演出は、非抑制態様で可聴出力されている前記特定 B G M が抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態になってから発生しうるものであり、

前記第 1 の受付演出において操作受付がなされると、該操作受付に応じた第 1 受付後演出として、前記定タイミング型は実行されず、前記定時間型の第 1 受付後演出のみが実行されるようになっており、

前記第 2 の受付演出において操作受付がなされると、該操作受付に応じた第 2 受付後演出として、前記定タイミング型の第 2 受付後演出と、前記定時間型の第 2 受付後演出とが並行されるようになっており、

前記第 2 の受付演出の発生に際しては第 2 受付演出音データが用いられるようになっており、該第 2 受付演出音データに基づく演出音の再生区間は、前記第 2 の受付演出において操作受付が許容される状態になるよりも前の前兆演出が行われている期間と、前記第 2 の受付演出での操作受付が許容されている期間とに跨るように設定されており、当該再生

区間のうち、前記第 2 の受付演出での操作受付が許容される状態になるよりも前の区間ではその再生状態が途中終了されることはないが、それ以降の区間では前記第 2 の受付演出での操作受付がなされるとその再生状態が途中終了されうようになっており、

さらに、

前記受付演出において、遊技者に求める操作内容を示唆する操作内容表示を表示可能であり、

遊技者による操作無しで操作受付があったときと同じ受付後演出を実行開始する場合、該受付後演出が実行開始される時点で、前記操作内容表示は非表示にされず表示可能とされており、

さらに、

前記操作内容表示は、複数態様のいずれかで表示可能とされており、該操作内容表示の態様には、遊技者による操作がなくても操作受付があったときと同じ受付後演出が実行開始される受付演出でしか表示され得ない態様が含まれており、

さらに、

前記受付演出において、残り時間を示唆する残り時間示唆表示を表示可能であり、遊技者による操作無しで操作受付があったときと同じ受付後演出を実行開始する場合、該受付後演出が実行開始される時点で、前記残り時間示唆表示は非表示にされず表示可能とされており、

さらに、

前記第 1 受付後演出は、第 1 演出手段を用いて行われるものであり、前記第 2 受付後演出は、前記第 1 演出手段と該第 1 演出手段とは異なる第 2 演出手段とを用いて行われるものである

ことを特徴とする遊技機。

**【請求項 2】**

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

操作受付が許容される受付演出を発生させる受付演出実行手段と、

前記受付演出において操作受付がなされると、該操作受付に応じた受付後演出を実行する受付後演出実行手段と

を備え、

前記受付後演出は、操作受付がなされたタイミングにかかわらず演出パターン内の予め定められたタイミングが到来するまで継続される定タイミング型の受付後演出として実行される場合と、操作受付がなされたタイミングから予め定められた時間分だけ継続される定時間型の受付後演出として実行される場合とがある遊技機であって、

前記受付演出として、少なくとも第 1 の受付演出及び第 2 の受付演出が用意されており、

前記第 1 の受付演出は、特定 B G M が非抑制態様で可聴出力されているなかで発生しうるものであり、

前記第 2 の受付演出は、非抑制態様で可聴出力されている前記特定 B G M が抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態になってから発生しうるものであり、

前記第 1 の受付演出において操作受付がなされると、該操作受付に応じた第 1 受付後演出として、前記定時間型は実行されず、前記定タイミング型の第 1 受付後演出のみが実行されるようになっており、

前記第 2 の受付演出において操作受付がなされると、該操作受付に応じた第 2 受付後演出として、前記定タイミング型の第 2 受付後演出と、前記定時間型の第 2 受付後演出とが並行されるようになっており、

前記第 2 の受付演出の発生に際しては第 2 受付演出音データが用いられるようになっており、該第 2 受付演出音データに基づく演出音の再生区間は、前記第 2 の受付演出において操作受付が許容される状態になるよりも前の前兆演出が行われている期間と、前記第 2

の受付演出での操作受付が許容されている期間とに跨るように設定されており、当該再生区間のうち、前記第2の受付演出での操作受付が許容される状態になるよりも前の区間ではその再生状態が途中終了されることはないが、それ以降の区間では前記第2の受付演出での操作受付がなされるとその再生状態が途中終了されうようになっており、

さらに、

前記受付演出において、遊技者に求める操作内容を示唆する操作内容表示を表示可能であり、

遊技者による操作無しで操作受付があったときと同じ受付後演出を実行開始する場合、該受付後演出が実行開始される時点で、前記操作内容表示は非表示にされず表示可能とされており、

さらに、

前記操作内容表示は、複数態様のいずれかで表示可能とされており、該操作内容表示の態様には、遊技者による操作がなくても操作受付があったときと同じ受付後演出が実行開始される受付演出でしか表示され得ない態様が含まれており、

さらに、

前記受付演出において、残り時間を示唆する残り時間示唆表示を表示可能であり、遊技者による操作無しで操作受付があったときと同じ受付後演出を実行開始する場合、該受付後演出が実行開始される時点で、前記残り時間示唆表示は非表示にされず表示可能とされており、

さらに、

前記第1受付後演出は、第1演出手段を用いて行われるものであり、前記第2受付後演出は、前記第1演出手段と該第1演出手段とは異なる第2演出手段とを用いて行われるものである

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣の低下が懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

操作受付が許容される受付演出を発生させる受付演出実行手段と、

前記受付演出において操作受付がなされると、該操作受付に応じた受付後演出を実行する受付後演出実行手段と

を備え、

前記受付後演出は、操作受付がなされたタイミングにかかわらず演出パターン内の予め定められたタイミングが到来するまで継続される定タイミング型の受付後演出として実行される場合と、操作受付がなされたタイミングから予め定められた時間分だけ継続される定時間型の受付後演出として実行される場合とがある遊技機であって、

前記受付演出として、少なくとも第1の受付演出及び第2の受付演出が用意されており

前記第 1 の受付演出は、特定 B G M が非抑制態様で可聴出力されているなかで発生しうるものであり、

前記第 2 の受付演出は、非抑制態様で可聴出力されている前記特定 B G M が抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態になってから発生しうるものであり、

前記第 1 の受付演出において操作受付がなされると、該操作受付に応じた第 1 受付後演出として、前記定タイミング型は実行されず、前記定時間型の第 1 受付後演出のみが実行されるようになっており、

前記第 2 の受付演出において操作受付がなされると、該操作受付に応じた第 2 受付後演出として、前記定タイミング型の第 2 受付後演出と、前記定時間型の第 2 受付後演出とが並行されるようになっており、

前記第 2 の受付演出の発生に際しては第 2 受付演出音データが用いられるようになっており、該第 2 受付演出音データに基づく演出音の再生区間は、前記第 2 の受付演出において操作受付が許容される状態になるよりも前の前兆演出が行われている期間と、前記第 2 の受付演出での操作受付が許容されている期間とに跨るように設定されており、当該再生区間のうち、前記第 2 の受付演出での操作受付が許容される状態になるよりも前の区間ではその再生状態が途中終了されることはないが、それ以降の区間では前記第 2 の受付演出での操作受付がなされるとその再生状態が途中終了されうるようになっており、

さらに、

前記受付演出において、遊技者に求める操作内容を示唆する操作内容表示を表示可能であり、

遊技者による操作無しで操作受付があったときと同じ受付後演出を実行開始する場合、該受付後演出が実行開始される時点で、前記操作内容表示は非表示にされず表示可能とされており、

さらに、

前記操作内容表示は、複数態様のいずれかで表示可能とされており、該操作内容表示の態様には、遊技者による操作がなくても操作受付があったときと同じ受付後演出が実行開始される受付演出でしか表示され得ない態様が含まれており、

さらに、

前記受付演出において、残り時間を示唆する残り時間示唆表示を表示可能であり、遊技者による操作無しで操作受付があったときと同じ受付後演出を実行開始する場合、該受付後演出が実行開始される時点で、前記残り時間示唆表示は非表示にされず表示可能とされており、

さらに、

前記第 1 受付後演出は、第 1 演出手段を用いて行われるものであり、前記第 2 受付後演出は、前記第 1 演出手段と該第 1 演出手段とは異なる第 2 演出手段とを用いて行われるものである

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】